

## 普及活動情勢報告（令和8年1月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

### 次作はもっと穫ろう！ ～ JA高知県中芸集出荷場オクラ部会 ～



土壌水分計を勧める  
普及指導員

12月26日、オクラ部会が安田町、奈半利町、北川村の3ヵ所で反省会を開催し、部会員19人、関係機関5人が参加しました。

農業改良普及課は、今作の気象状況やSAWACHIを利用して土壌水分や温度データの推移について説明しました。

部会員からは「かん水の間隔がほ場や温度等によって変わることを早く知らせてほしかった」「pFメーターはいくらするのか」などの声がありました。

農業改良普及課は、今後もオクラの増収技術の普及など産地の維持・発展に向けて支援していきます。

### 担い手の確保・育成に向けて ～ 安芸市指導農業士意見交換会 ～



就農に向けた  
抱負を語る研修生

1月15日、安芸市担い手支援協議会が、産地が主体となって担い手の確保・育成に取り組み、今後も産地を維持・拡大していくことを目指して安芸市指導農業士意見交換会を開催し、指導農業士10人、研修生4人ほか関係機関等11人が参加しました。

農業改良普及課は、担い手支援協議会のメンバーとして議題の調整や運営支援を行いました。

指導農業士からは研修生に向けたアドバイスや激励に加え、「日本一のユズの担い手確保に一緒に取り組んでいこう」といった発言があるなど、安芸市の担い手の確保・育成に向けた前向きな意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後も地域の指導農業士と連携し、効果的な担い手の確保・育成に取り組んでいきます。

### SAWACHIで出荷量を確認！～赤野集出荷場園芸女性部SAWACHIログイン会～



SAWACHIの機能を説明する普及指導員

1月15日、赤野集出荷場園芸女性部が、集出荷場でSAWACHIログイン会を開催し、部員3人が参加しました。この会はSAWACHIを楽しく活用してもらうことを目的に昨年につき3回目の開催となります。

農業改良普及課は、登録の申請や当日のログインの操作補助、機能紹介を行いました。参加者はスマートフォンで実際にSAWACHIニュースや出荷データを確認しました。

参加者からは「安芸地区のニュースがある！」「直近の出荷量が見えていいね」といった声が聞かれました。

農業改良普及課はSAWACHIを活用した農業経営の改善を支援していきます。

令和7年産のユズ玉の貯蔵状況は？ ～貯蔵ユズ玉巡回～



貯蔵玉の状態を確認する参加者

1月16日、JA高知県安芸ユズ加工場が安芸市内でユズ玉の貯蔵状況等を把握するための巡回を実施し、生産者3人とJA職員、普及指導員が参加しました。

巡回では、ユズの販売状況、貯蔵玉の品質や管理状況、今後の出荷計画について確認しました。

農業改良普及課は、令和7年産の気象データをもとに貯蔵中に発生する可能性の高い果皮障害の対策について指導しました。

参加者からは「年明けの低温・乾燥もあり、貯蔵こはんの発生がやや見受けられる。玉の状況に応じて適正な管理を行い早めに出荷するようにしたい」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も勉強会や巡回等を通じて、青果出荷農家の高品質化や安定生産に向けて支援します。